

各地の農場には優秀な若手が勤務している。数ある職場のなかで、農場に勤めることを選んだ彼らは、農業や勤める農場をどのように見つめ何を感じているのか。リレー訪問第10回は、(有)茨城白菜栽培組合に勤める唐澤秀氏が(有)マルミファームに勤める稲吉保氏を訪問する。

唐澤 まず、こちらの農場について教えてくださいませんか。

稲吉 うちの農場では繁殖から肥育までを手掛ける一貫経営をしています。母豚は現在400頭、2003年に新しく豚舎を建てて母豚230頭から規模拡大しました。全体数としてはこの10倍くらいになります。

唐澤 稲吉さんはそういった中でどういった仕事をご担当されてるんですか？

稲吉 農場長をしています。計画通り出荷できるように進行を管理する仕事ですね。といっても獣医でもある後継者の方とおおまかに役割分担をしていて、その方が種付けから離乳までの繁殖部門や病気についてみてくれています。僕は主に肥育部門の担当です。そのほかにスタッフの管理とか浄化槽やコンポストなどの糞尿処理設備もみています。簡単にいえば少しでも短い期間で豚を大きくさせて、できればその全部を出荷



リレー訪問農場に勤めると夢

第10回

ゆとりを生むための仕事

……の巻

今月のホスト

唐澤 秀 (30歳)

出身：静岡県浜松市
所属：農業生産法人
(有)茨城白菜栽培組合

雇用形態：社員

備考：1999年、明治大学農学部卒業後、2000年、(有)茨城白菜栽培組合に入社。現在、開発・営業担当。

できるようなするというのが、僕らの仕事になります。

唐澤 豚はどういった管理をするんですか？

稲吉 現在は成育段階に応じて豚舎・豚房を移動させていくんですが、移動させるときは「オールイン・オールアウト」(AI・AO)というやり方でやっています。何頭かの豚をグループにして1つの豚舎にこれ、一定期間そこで生育させたからこのグループの豚を全部、別の豚舎に移していくやり方です。規模拡大した時に作業フローを改善する目的もあって導入したんですが、こうすることで別の集団の豚との接触が

避けられるので、病気の感染を予防できるんですよ。これで、離乳後に死んでしまったりする事故率が減り、生産効率がよくなりました。

唐澤 導入したときは大変だったでしょうね。

稲吉 この前にウィークリー管理法という方法を採用してたんですよ。このベースがあったのでできたんだと思います。

唐澤 それはどういうものなんですか。

稲吉 豚は、妊娠して114日で出産するとか、母豚の発情サイクルは21日周期だからいつ種付けができるとか、大体予測ができるんですよ。こういった豚の生理と作業の段取りを調整して、作業が平日に集中するようにするやり方です。これで1985年から隔週週休2日制を実現していたんですよ。これにAI・AOをあわせると今の管理の仕方になるんです。

唐澤 そこまで計画的にやるものなんですね。「ぼちぼち種付けでもやるか」(笑)という感じで、もっとフレキシブルなんだと想像していました。出産してからは何日くらいで出荷できるようになるものなんですか。

稲吉 平均で日齢176日ですが、150日でだせる豚もいれば、20

0日かかってまだまだ出荷できない豚もいます。日齢も大事ですが、毎週出荷する曜日が決まっているので、そのときに出荷体重115kg~118kgになるように努力しています。できれば過不足なく115kgにしたいですね。

唐澤 出荷体重はどういう基準で決めるんですか。

稲吉 枝肉の規格におさめるための目標値です。枝肉の格付けを「上」にしたんですけど、枝肉重で75kgくらいを目標にすると、歩留まりから逆算してこの出荷体重がでるわけです。少なくとも決められた頭数は出荷できるように、各工程を担当して

いる従業員それぞれにも目標を持たせてやっているところですよ。気候がいいと成育が思いのほか早かったりと難しい点もありますが、今までの積み重ねもあって、受胎率と事故率が安定していれば10カ月先に何頭出荷できるかが見えてきます。

唐澤 僕がやっている仕事とも共通点がありますね。どれくらい出荷するかは決まっています。余分に収穫もしない。計画通りにやるけども、波はあって、あとはその場その場でどう調整してあわせていくかということをやります。できちゃってからだと遅いので、収穫が近い畑があると先に売り込みをかけたたり、早いうちに



冷蔵庫に保管したり、先手先手です。そうすると無駄もなくなるし、それだけお金も残ると。

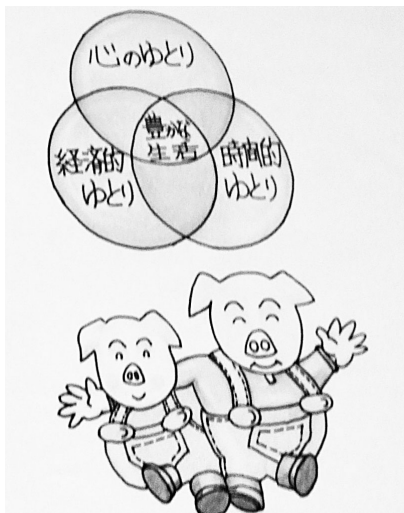
稲吉 そうですね。うちの場合、計画通りに進めるということに関しては特に厳しいんですよ。何しろAI・AOで計画的に豚が移動していくので、それに作業が追いついていかなければ行き場のない豚が出ることになります。例えば、分娩舎に母豚をいれる予定の日にそこを空けておくことができれば、哺乳できないところで分娩することになります。そうすると損害になってしまいます。そういったことは絶対に起きないようにしなければなりません。

今月のホスト

稲吉 保 (44歳)

出身：愛知県幸田町
所属：(有)マルミファーム
雇用形態：社員

備考：1962年生まれ。高校卒業後トヨタグループ系のトヨタ工機株式に勤務、工作機械の製造を担当。1983年、同社退社。1984年、アルバイトとして入社後、正社員に登用される。勤続22年目。現在、農場長。



社長の稲吉弘之氏が作成した資料の一部。早くから隔週週休2日制を実施したのも豊かな生活を実現するため。

ん。豚舎を空けるために、無理にでも出荷することもあるくらい計画を重視しています。成育段階ごとに担当が決まっているので、それぞれがやるべきことをきちんと実行していかないといけないですよ。

唐澤 誰かががさぼったりすると、すべてが狂ってしまうわけですね。

稲吉 日々きちんと管理していかないと、僕たち自身の休みもとれず、毎日忙しいだけになってしまいます。社長が会社の理念として掲げていることに、3つのゆとりというのがあるんです。「経済的ゆとり」、「時間的ゆとり」、「心のゆとり」、この3つが揃って初めて豊かな生活をする事ができるといふもので、僕も同じ考えです。一人ひとりがしっかりやるからこそ、休暇をとる時間が出てきて、時間的なゆとりを持てるようになるわけです。

唐澤 どうにかしたいところでですね。

稲吉 機械については、今はほとんどのものを治せるようになりました。業者が修理にきたときに1日そばに張り付いて、直し方を覚えるんですよ。すぐ直せるようになるわけじゃないんですが、自分でも修理してみても、ダメならまた業者を呼んでと、3回くらいこれ

唐澤 なるほど……。

稲吉 ただ、これだけの設備があると、機械やコンピュータにどこかしら不具合がでるものなんです。直すのにも時間がかかるものだし、修理に業者を呼んでもすぐ来れるわけではないので、作業が中断してしまう。

唐澤 せっかくスタッフが計画どおりすすめて時間をつくっても、そういうことで作業がストップしてとまってしまふのは残念ですね。

稲吉 ええ。特に注意する必要があるのがコンピュータです。自動で動いているだろうと思えば入ると、ほこりが原因で急に換気扇が作動しなくなることもあるので。密閉したところで豚を管理していると、こういうたちよつとしたことから大きな問題に発展しかねないんです。

稲吉 自分がラクしたくてやってるだけなんです。僕はお金をもらう立場なので、作業量をいかに減らして早く帰るかを考えるわけです。もちろん給料もたくさんもらえた方がいいので、この意味でも作業を早くこなす方法はないかといつも意識して仕事をしています。従業員の子たちにも、「給料をもらって決められた時間働いてるんだから、その分早く仕事が終わればラクできるんだよ」と言っています。お金を払う方は従業員がどういふことをやっているのかを必ず見ているはずですし、そこ

をやるのと大体のものは部品さえあれば、直せるようになります。

唐澤 豚だけじゃなくて、機械についても詳しくないとダメなんですね。

稲吉 自分がラクしたくてやってるだけなんです。僕はお金をもらう立場なので、作業量をいかに減らして早く帰るかを考えるわけです。もちろん給料もたくさんもらえた方がいいので、この意味でも作業を早くこなす方法はないかといつも意識して仕事をしています。従業員の子たちにも、「給料をもらって決められた時間働いてるんだから、その分早く仕事が終わればラクできるんだよ」と言っています。お金を払う方は従業員がどういふことをやっているのかを必ず見ているはずですし、そこ



種付け日や分娩予定日などの母豚の履歴を記入したカードについて説明する稲吉氏。

で社長に「おつ、がんばってるな」って思わせることができれば、彼らの給料は上がるかもしれません。僕は経営者じゃないから彼らに少しもお金をもらえるようになってほしいんですよ。

唐澤 社長さんはそういうことをきちんと評価してくれるんですね。

稲吉 幸いうちの社長は従業員の働きぶりだとかをみてくれる人で、目標をクリアすると報奨金をくれることもあるんですよ。逆に、もし従業員にダメなところがあれば、その従業員だけでなく私にも言ってくる。農場長という肩書きもあってそういう点については責任もある立場なので、従業員のレベルアップには力を入れていきたいですね。

(つづく)